

	架台工法	吸着盤工法	免震工法	二重床工法
施工	ラック設置スペース分のフリーアクセスを取り除き、架台を埋め込みアンカーボルトで固定設置します。フリーアクセスを取り外した部分と設置した架台の隙間に、カットしたフリーアクセスをはめ込み、ラックを架台に固定して完了です。最もオーソドックスの工法で安定した耐震が保てます。	ケーブル孔が必要な場合はフリーアクセス等に開口をあけておきます。鉄板を、あけた開口やフリーアクセスの繋ぎ部分避けるように敷き、吸着盤付ラックを鉄板の中央にのせ完了です。複数台の連結にも対応できます。	床に置くだけの工事不要簡単設置です。	ラック固定用穴4箇所分とケーブル孔が必要な場合はフリーアクセス等に開口をあけ、ラックとフリーアクセスを固定し完了です。
耐震性	安定	転倒はしないが移動する。	機器に直接地震力を与えない。	フリーアクセスの強度に委ねられる。
施工性	普通	容易	容易	比較的容易
コスト性	中	中	高	低
設置条件	二重床までの高さが、100mm以上確保されている事。	設置面に凹凸が無く、フリーアクセスなどは開口がないこと。前後方向にラックサイズ+300mmのスペースが必要です。	設置面に凹凸が無く、フリーアクセスなどは開口がないこと。前後方向にラックサイズ+300mmのスペースが必要です。	フリーアクセス上面までの高さが100mm以上で、フリーアクセス支柱をよけて4箇所固定用穴がかけられる事が必要です。
ここが◎	ケーブルの引き込み性が良い。フリーアクセスが崩壊しても影響をうけません。	床やフリーアクセス面に穴や加工などをすることなく、容易に設置できます。後日の移動も設置が容易ですから簡単です。	置くだけの簡単設置。地震力を吸収し機器をガードします。	材料代がほぼかららない。免震ビルや免震アクセスエリアには有効です。

	キャスター止め工法	ベース工法	SD工法	二重床貫通工法
施工	キャスター固定金具取付穴をフリーアクセスまたはスラブに明け、必要であればフリーアクセスにケーブル用開口をあけます。キャスター付ラックを設置しレベルフットをおろし、キャスターをロックします。金具でキャスターを挟み込み、ボルトで金具をしっかりと固定して完了です。	フリーアクセス下のスペースが架台を設置できるほどない場合に有効。設置方法は架台設置の場合と同じ。タイル床設備等に直置きの場合はアンカー孔を4箇所あけ、アンカーボルトを打ち込みラック本体とスラブ面をしっかりと固定します。	フリーアクセスに4箇所ボルト貫通用の穴をあけ、フリーアクセス下の免震設備のH鋼などに接続設置します。	ケーブル孔が必要な場合はフリーアクセス等に開口をあけておきます。フリーアクセスにボルトを貫通させる穴をあけ、スラブにアンカー孔をあけます。フリーアクセスをラックとボルトでサンドイッチになるように固定し完了です。通しボルトとZ型金具の2種類の工法があります。
耐震性	フリーアクセスの強度に委ねられる。	安定	フリーアクセスの強度に委ねられる。	フリーアクセスの強度に委ねられる。
施工性	比較的容易	普通	困難	困難
コスト性	低	低	中	低
設置条件	設置面に凹凸が無くフリーアクセスなどは開口がないこと。四方にラックサイズ+100mmのスペースが必要です。	二重床までの高さが100mm以下でケーブルなどの障害物がない事。	余長のないケーブルが大量にない事。	フリーアクセス上面までの高さが200mm以上で、ラックまわりのフリーアクセスが開けられなくても支障ない事。
ここが◎	固定金具のボルトをゆるめれば、いつでもラックの移動がもっとも簡易に行えます。	下からのケーブル導入スペースと安定した耐震度を効果的に両立できます。予め設置用架台、レールなど筐体固定用穴がある設備にも、対応します。	ビルの免震設備を生かしつつラックの転倒や移動防止に有効です。	材料代がほぼかららない。免震ビルや免震アクセスエリアには有効です。